

# 平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち  
 政策目標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに  
 重点的取組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

担当課名	福祉保健部 福祉総務課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	03	民生費
	項	01	社会福祉費
	目	01	社会福祉総務費

事業名	<b>地域福祉計画推進事業</b>	事業開始年度	平成 21 年度
	「第2期廿日市市地域福祉計画」の策定	根拠法令 条例 個別計画等	地域福祉計画 廿日市市地域福祉計画推進委員 会設置要綱

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民	高齢者や障がいのある人など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、多様な主体が持つ資源をつなぎ活かしながら地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいる。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	計画の見直し(プロセス形成、事務局)、進行管理体制の構築、	地域福祉計画推進委員会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、委託事業者など	計画策定(見直し)への参画、策定後における進捗把握、実践に向けたリーダーシップの発揮、計画策定支援、推進支援

## 3 平成 27 年度 予算(事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	≪事業の概要≫ ・平成21年3月に策定した「廿日市市地域福祉計画」の見直しを行う。 ※計画期間 平成28年度～平成32年度(第6次総合計画前期基本計画と連動) ※計画に見直しに当たっては、そのプロセスと見直し後のフォローアップに重点を置き、廿日市市地域福祉計画推進委員会や庁内における既存の会議や連絡会議等を開催する他、多様な主体との対話の機会を設けるなど市民参加により策定を行う。  ●廿日市市地域福祉計画策定委員会の開催(年4回) ・概要、策定方針、スケジュール等説明 ・計画骨子、素案検討 ・計画原案検討 ●庁内会議(定期的に) ・政策監会議 ・部内課長会議 ・関係課連絡会議(部内の各課、経営政策課、地域政策課、協働推進課、社会福祉協議会等) ●多様な主体との対話の機会(円卓会議、座談会等) 7月～9月(2回程度) 開催予定(地域のタイミングに合わせて実施)			
	≪予算額内訳≫ 【歳出】 地域福祉計画推進委員会 報酬 7,000円×12人×4回 336千円 地域福祉計画推進委員会 費用弁償 22千円 第2期地域福祉計画策定支援業務委託料 3,657千円			

コスト情報(円)	項目	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A	57,760	
国庫支出金				
県支出金				
借入金(市債)				
その他(使用料など)				
	市(市税など)	57,760		4,015,000
	人件費(按分) B	1人 8,486,000	0.37人 3,149,070	1.00人 8,649,000
	総事業費(A+B)	8,543,760	3,149,070	12,664,000
単位換算	① 人口(4月1日現在)	117,680人	117,680人	117,182人
	② 市民1人当たり	73	27	108

到達目標	活動及び成果指標	単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考
	活動	推進委員会の開催回数	回	1	-	4
成果	第2期地域福祉計画の策定	%		30	100	